

古代の交流を現代に繋ぐ

友好親善都市 韓国慶州市

宇佐市役所 観光まちづくり課 主査 江口 貴之

韓国慶州市は、新羅王朝千年の都として栄えたまちで、市内各地には仏国寺をはじめ当時の仏教文化の栄華を今に伝える数多くの遺跡が散在し、天井のない博物館とも呼ばれる人口約30万人の歴史文化観光都市です。

宇佐市と慶州市は、宇佐神宮と新羅仏教文化との深い係わりや、宇佐市の別府遺跡から出土された日本で唯一の朝鮮式小銅鐸が、慶州市の遺跡から出土されたものと同型であるため、当時から交流があったことをうかがい知ることができます。

そうした古代からの文化交流を現代に復活させることで、地域文化の復興及び国際社会に対応できる人材の育成を図るため慶州市に打診し、1992年（平成4年）に友好親善交流都市締結を行いました。

最近の主な交流内容として、「慶州市芸術の殿堂」の完成を記念して開催された「慶州・宇佐美術文化協会交流」では、双方の作

品展示による文化交流を実施しました。また、国際感覚豊かな人材を育成するため平成7年から毎年実施している「中学生派遣事業」では市内の各中学校から選ばれた生徒20名が慶州市でのホームステイや地元中学生との交流などを行っています。

その他、慶州市で開催される「韓国酒と餅祭り」では宇佐市ブースを開設し、餅の調理販売や酒の試飲及び観光PRを行い、一方、宇佐市で開催される「ワイン祭り」では慶州市ブースでトッポギ、チヂミなどの調理販売を行っています。この物産交流は、お互いの親善関係を広くPRできるとともに、訪れたお客様には異国食文化に触れる貴重な機会だと大変好評です。

今後もこのような人や文化交流はもちろん、交流の幅を広げて両市の経済・観光交流へ進展するよう、継続的に国際交流事業を進めていく必要があります。

最後に、慶州市の方と交流を通じて感じたことは、みなさんとても親しみやすく人情深いということです。はじめは韓国語がわからずコミュニケーションをとるのに不安がありましたが、上司から「国際交流は言葉が通じなくても笑顔があれば大丈夫。そこから心の交流がはじまる」と教えられ、その後は気が楽になったことを覚えています。今後もまず「心の交流」をこころがけ、お互いの文化を尊重し国際交流色豊かな宇佐市を目指したいと思います。



世界遺産(文化遺産)の慶州市仏国寺



「ワインまつり」で慶州市をPR

大分の国際交流団体の紹介

外国人 Life Support

外国人と、外国人をとりまく問題で心配や悩みのある方は、「外国人 Life Support」へお気軽にご相談ください。

「外国人 Life Support」は、17年前「大分出入国事務取扱協議会」として発足しました。1996年6月から、「入国・在留・国籍手続無料相談会」を大分市コンパルホールにおいて定期的に行っていました。外国人が日本で安心して生活できるよう、日本への入国手続、在留手続、国籍取得手続などの相談、また、日本人と外国人が互いを認め合いながら紛争を円満に解決するための助言などをするを目的として活動していました。

2009年8月、名称を「外国人 Life Support」と改め、より多くの外国人が快適に日本で暮らせるよう、生活や就職の悩みなど、様々な問題に幅広く応じられるよう努力を続けております。

- ・外国人の雇用・就労問題
- ・日本で外国籍の人が起業をしたい。
- ・国籍を越えた結婚・離婚
- ・近隣住民とのトラブルなど

個人のそれぞれのお悩みに対応できるよう、相談員の拡充を図っています。出入国手続、帰化手続などを専門にしている行政書士、弁護士等の相談員以外にも、訓練された様々な分野の専門職の方も相談員に加わりました。



2011年6月には「外国人無料相談会」が175回を数えました。「国際交流プラザ」(iichiko総合文化センター地下1階)において、毎月第1日曜日(1月と5月を除きます。)1時から4時まで「外国人無料相談会」を開催しています。予約の必要はありませんが、順番ですのお待ちいただくこともあります。行政書士、弁護士、社会福祉士、法廷通訳、カウンセラーなどの専門職が皆様の相談に応じます。(相談料は無料) この記事をご覧になったあなたが、外国人にこの相談会の存在を伝えてくださることを期待しています。

それでは、第1日曜日に「国際交流プラザ」でお待ちしています。(お問い合わせは、「外国人 Life Support」事務局、原田みゆきまで。☎0979-43-6329 電話での相談はお受けできません。)